

個別の教育支援計画記入例(通常の学級在籍用)

秘

個別の教育支援計画

1 本人のプロフィール

平成〇年〇月〇日作成

ふりがな	〇〇 〇〇	学校名	〇〇〇〇 小学校		
氏名	〇〇 〇〇	性別	学年	生年月日	
		〇	〇年	平成〇年〇月〇日	
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇..... TEL (〇〇〇〇)〇〇-〇〇〇〇				
入学前の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・H22年～24年 保育所。おもちゃの貸し借りや約束が理解できず友達とうまく遊べない。 ・H24年 教育相談にて、通常の学級に在籍することを決める。 				
診断及び諸検査等の記録	診断名【4才の時「自閉症」と診断される。<〇〇市民病院・〇〇医師>】 検査の種類【知能検査】数研式 検査の結果[IQ 偏差値 35] 検査月日[平成〇〇年〇〇月〇〇日] 【特記事項】集中力が続かない。				

2 合理的配慮

項目	合理的配慮	見直し
学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮	1時間の授業の流れを事前にメモ用紙に書いて手渡す。(4/8)	次年度も継続する。一日の流れも一緒に分かるように工夫する。(3/23)
専門性のある指導体制の整備	気持ちがコントロールできるように通級による指導で自立活動を行う。(4/8)	通級による指導の回数を週2回行えるよう調整する。(3/23)

3 支援の計画

卒業後の進路希望	本人	・工業系の高等学校に進学したい。		
	保護者	・高等学校に進学し、一般就労させたい。		
関係機関との連携	連携機関	支援内容や所見	連絡先	
	〇〇大学附属病院	年2回検診	〇〇科〇〇医師	
次年度への引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を丁寧に書くことや落ち着いて授業を受けることができるよう通級による指導を継続して行うとともに、通級指導教室担当教員とも連携を深めていく。 ・担当医と連絡と取り、学校での様子を伝え助言をもらう。 			

保護者の確認 平成〇〇年〇〇月〇〇日 保護者氏名 〇〇 〇〇
 引継ぎの確認 平成〇〇年〇〇月〇〇日 保護者氏名 〇〇 〇〇

・このページは、毎年更新することを原則とする。なお、追記は随時行う。
 ・保護者との協力のもと、保護者の承認を得て作成する。
 ・個別の教育支援計画を進学先等へ引継ぐ際は、保護者の承認を得て行う。